

今号のわだい

- 【1面】日本看護協会、農水省と懇談行う
国会議員へ夜勤規制・増員で要請
- 【2面】3・1ピキニデー、9条改憲とは
- 【3面】各ブロック18春闘討論集会から

全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>



看護職場の改善に向けて有意義な場となった学習と懇談

働き続けられる看護職場めざし
日本看護協会と懇談

全厚労拡大看護委員会開く

3月13日、全厚労第2回看護委員会を、拡大委員会として開催し、17県34名が参加しました。午後には日本看護協会から講師を迎え学習と懇談を行い、会議では看護委員会としての重点目標に対する取り組みの推進と、秋の幹部・看護師集会の内容について議論しました。

午後から日本看護協会労働政策部看護労働課の奥村元子さんを講師に迎え、学習と懇談を行いました。奥村さんは、8年前から看護協会ニュースに掲載している「ナースのはたらく時間・相談窓口」の事例を紹介しながら、看護現場の労務管理について法律に則った方法について話されました。

例えば、時間外勤務に関して、「Q：新規採用者の病棟での指導を勤務終了後に実施した場合、新規採用者にも時間外勤務をつける必要がありますか？」との質問に対し、「A：時間外勤務にすることが妥当です。新規採用者が受ける教育指導は業務遂行能力の育成には欠かせない、業務性が強いものです。厚生労働省「中略」ガイドライン（1月20日策定）では、『参加することが業務上義務づけられている研修・教育訓練の受講や、使用者の指示により業務に必要な学習等を行っていた時間』を労働時間としています」などと解説がありました。

働きやすい職場が
看護の質向上に繋がる

学習講演では、法律を守ることは当然で、看護管理者は、時代は変わった（自己犠牲のような精神で働く看護現場は通用しない）と考え方を改めなければいけない。妊娠・出産・育児中の看護師も含めて、有休がきちんと取れる、育短や保育所が活用できるなど、生涯を通じて生き生きと働き続けられる職場が医療・看護の質向上にもつながることが強調されました。

講演後の質疑応答・意見交換では、「現場の管理者との温度差を感じる。もっと

と協会としてアピールを強めて欲しい」、「一致する目標で共同が進められたら変わっていくと思う」等の意見が出されました。奥村さんは、「引き続き協力が出て来るところはやっていきたい」、「直接的に労働条件が変えられるのは労組だけ。期待している」とエール。また4月に協会として「看護職の労働安全衛生ガイドライン」を発出する予定で、3月15日号の協会ニュースで壁にも貼れる特別号やホームページにもデータをアップするので活用して欲しいと呼びかけられました。



佐藤公治議員（希望、広島6区）と和やかに懇談

午後5時の要請行動では、広島県尾道市が地元の佐藤公治衆議院議員（希望の党）にもお会いし、紹介議員になつて頂きました（写真）。全厚労本部のチームも参議院比例議員の事務所に訴えて回りました。橋本聖子参議院議員（自民党）の年配秘書の

方が、「紹介は党の役職のため応じられないが、気持ち的には皆さんと同じ。私も医療・介護現場の実態は非常に問題だと思う。入院時には良くしてもらったがあれで夜勤は回らない。厚生連も大変だと思う」と積極的な対話になったことが印象的でした。奮闘の結果、現在の紹介・賛同議員は108名まで増えました。

要請行動後には、全国組合（全医労や全厚労、全日赤など7組合）協議会主催の共同学習会があり、青龍美和子弁護士（東京法律）の「自民党改憲でどうなる？」との学習。茨厚労・安本真理子さんの「改憲反対署名や平和行進など平和の取り組み」や、全日赤の「戦時・災害救護を就業規則の規定に変更する問題」等の特別報告で学びました。

経営問題で、農水省と再度懇談

3月2日、全厚労は中執会議に合わせ、17県21名の参加で秋に続いて再度、農水省との懇談を行いました。改めて「固定比率」について、農水省は「100%を割り込むなどの指導はしていない。あくまでも事業継続の指標」と回答。現場

から、「団体交渉の中で地方農政局から『固定比率100%達成』がきつく指導され、そのために一時金の削減や給与の見直しなど『人件費抑制』策が出されている」と実情を訴えました。

との話はしたことがないし、我々の立場で出来るわけがない。人件費は『固定費』だと捉えているし、収益計画の実現性に妥協性があるのか、が判断基準。診療報酬の見通しの難しさもあるが、厚生連の役割を考えると、もっと自治体の支援や

「病院給食の委託化をせず、JAからの食材供給を進めて欲しい」との要望には、「当然、給食に限らずJAグループの連携を進めるような経営方針も示しているところ」だと答えました。（詳細は「全厚労18春闘速報No1」にて）

署名の紹介議員108名へ
揺れ動く国会へ国民の声を上げよう！

核のない世界へ

被災64年 3・1ビキニデー

1954年3月1日にアメリカがマーシャル諸島共和国のビキニ環礁で水爆実験を行いました。この水爆実験の被害者が声を上げ、核兵器禁止・廃絶をめざす行動・議論・交流の場として毎年3・1ビキニデー集会が行われています。今年も2月28日～3月1日に於いて、2018年3・1ビキニデー集会が開催され、全厚労からは本部を含め9県27名が参加しました。全体では日本水協全国集会に850名、2日目午前の墓参り進には1500名、午後の3・1ビキニデー集会には1800名の参加がありました。

いまなお続く放射能被害

3・1ビキニデー集会では、第五福竜丸元乗組員の大石又七さん、池田

正穂さんが登壇。大石さんからは被爆体験や、若くして亡くなったといった船員の無念が話され、広島・長崎を忘れたかのような今の改憲の動きに「沢山の犠牲の上に手に

入れた平和憲法を変えることは許されない」と訴えられました。また、被災64年を迎える今も、水爆実験のあった海域での放射能被害に苦しめられているマーシャル諸島の島民のブルック・タカラさんから被害の実態と支援が呼びかけられました。

集会では、ビキニ事件から立ち上がり綿々と続いてきた原水爆禁止運動を力に、「ヒバクシャ

際署名」を飛躍させるなどのアピールが採択されました。

核廃絶に向け平和活動に参加を

2018年2月2日に核保有国であるアメリカのトランプ政権が『核態勢見直し（NPR）』を発表し、日本の外務大臣

がNPRを支持する談話を出しました。内容は国連で昨年採択された核兵器禁止条約に逆行するものとなっています。唯一の被ばく国である日本の国民として、日本政府の対応には残念な気持ちしかありません。北朝鮮による核実験や核兵器開発の危険性を鑑み、アメリカの核傘下に入ることで抑止を狙うためでしょうが、日本政府は日本の国民が「ヒバクシャ」であることを忘れてはいけません。

した事件とっていましたが、その他1000隻以上の船が被ばくしたと、さらにビキニ環礁近海に住む住民の方々も被ばくしていたことを集会に参加して初めて気づかされました。

「ヒバクシャ」の苦しみは終えることはありません。生きている限り続きます。世界中からの支援の輪が広がること、そして今以上に「ヒバクシャ」が増えることがないような世の中を願います。

戦争で世界は1つになれません。平和を願うところそが世界を1つにする唯一の手段だと思えます。2017年にICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）がノーベル平和賞を受賞し、世界の国々が核兵器禁止条約に参加しています。

禁止条約の早期発効のため、現在行っている「ヒバクシャ国際署名」を大きな活動とし、平和運動に参加したいと思えます。（教宣部・吉滝）



第五福竜丸無縁長・故久保山愛吉さんへ献花する参加者



放射能被害を訴えるブルックさん

9条改憲でどうなる日本

安倍首相は「東京五輪が開かれる2020年に新しい憲法を施行させたい」と、憲法9条に自衛隊を明記する改憲を狙っています。「今まで頑張ってきた自衛隊が憲法に明記されるならいいんじゃない？」と思うかもしれませんが、ちょっと待って！

海外で戦争する国に

2015年に安保法制が强行採決され、自衛隊は攻められたら守る「専守防衛」の自衛隊から、集団的自衛権の行使で同盟国と一緒に「海外で戦争に参加する」自衛隊へと変えられてしまいました。戦後73年間、日本が戦死者を一人も出さなかったのは「戦争しない・武力は持たない」との憲法9条があったからです。これに今の自衛隊を書き込めば、災害救助で活躍してきた自衛隊を戦争する軍隊として認めることとなり、米軍とともに戦場で殺し・殺される存在となってしまいます。

私たちの暮らしにも影響が

安保法制のもとでは、日本が直接的に攻撃を受けていなくても、日本の「存立危機自体」と見なされたら同盟国（アメリカ）と共に他国への軍事行動を起こす（集団的自衛権）ことができます。そうなれば相手国からは日本も「敵」と見なされ、反撃を受ける可能性が高まり、「武力攻撃事態などの発生」→「有事法制の発動」とドミノ式に、国民の協力義務が課されていきます。

医療関係者はもちろん、空港やトラックなどの運輸、土木、地方公務員など様々な分野の労働者は、否応なく協力しなくてははいけません。

また、憲法に「わが国を防衛するために国防」が書き込まれれば、これまで以上に防衛費を増やし、税金でアメリカから兵器を際限なく買うこととなり、福祉や年金が削られ生活が苦しくなることでしょう。

安心して暮らすために

日本へ発射されたミサイルを全て撃ち落とすことは技術的に不可能です。また原発の点在する日本では、原発を狙われたら核ミサイル攻撃と同等の被害が想定されます。私たちが安全に暮らすためには、対話など平和的外交手段で解決することが必要です。また憲法を変えることよりも、憲法の定める「幸福権」や「生存権」を活かすために、5兆円を突破する軍事費の使い道を変えていくことからではないでしょうか。

学習や対話を通して、『安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名（3000万署名）』を使って平和な日本を守ってきた憲法9条改憲に待ったをかけていきましょう。



焼津沿岸にて



秋田・中村秀也副委員長からの報告

新厚労の組織問題では、県労働委員会より一部を不当労働行為と認め、新潟県厚生連に対して救済命令を発出したことが報告されました。第2組合の設立から数年がたち、その間行われた行為が一部

秋田では、秋田・岩手医科・弘前大学の教授連名で「大館市立総合病院の機能強化に向け、1月より、かづの厚生病院での里帰り分娩の中止」旨の文書が出されたことにより、地域住民を巻き込んでの運動が行われています。現在、鹿角市鹿角

春闘に向け各ブロック団結して闘おう

2月号では西日本ブロックの春闘討論集会を紹介しましたが、今回は三北、関信、東海のブロック集会の様子をお伝えします。

三北ブロック

各県の問題を全厚労で共有・協力へ

2月23日、三北ブロック18春闘討論集会を北海道函館市に於いて開催し、各県から春闘の取り組みや様々な問題と経過について報告

がありました。

北厚労では新福利厚生制が始まること紹介され、導入された経過についても報告されました。反対に富厚労では、財務改善計画の最終年度である平成30年度を乗り切るために、平成30年度の職員福利厚生費を凍結することが報告されました。

福厚労のパワハラ裁判については、世論の関心の大きさもあり裁判官が3名いる郡山地裁に移るようになりました。全厚労に協力をお願いしてきた団体署名も、現在122組織となり、全国的関心の高さが伺えます。今後は個人署名にも取り組む予定であり、全厚労を通じ、全国へお願いすることになります。

秋厚労の病床削減問題においては、秋田・岩手医科・弘前大学の教授連名で「大館市立総合病院の機能強化に向け、1月より、かづの厚生病院での里帰り分娩の中止」旨の文書が出されたことにより、地域住民を巻き込んでの運動が行われています。現在、鹿角市鹿角

郡医師会を含む約50組織が協賛として参加しています。直近の事であり、病院職員や地域住民との連帯を強化した支援が必要です。

春闘要求については、各県の実態に沿った要求が作

関信ブロック

賃金論を学び組合を強くしよう

2月24日、埼玉県熊谷市で関信ブロック春闘討論集会を開催、4県と本部から35名が参加しました。

学習講演は「賃金の基本と労働組合の役割」として、岡部義秀中執が行いました。組合員の生活と権利を守る上で欠かせないのが賃金の要求です。その根拠となる賃金の成り立ちやしくみを学ぶ機会として、大変貴重な時間となりました。講演

では、主に労働強化と労働力の再生産という難しい内容でしたが、集会参加者が

り上げられています。今春闘も組合員が一致団結して闘うことが求められます。執行部が最後まで春闘を闘えるように、組合員の皆さんからの応援をよろしくお願いします。(教宣部・吉滝)

衣装を着て労働と賃金のかわりや商品価値について実演するなど、参加者にわかりやすくなるよう工夫された講演でした。その後の各県報告では、熊谷から、熊谷総合病院の賃金体制の変遷と現在の体系、わかりやすい給料表になるよう会側に求めている課題、過半数代表者選挙、2交替勤務導入阻止への取り組みが報告されました。

茨城からは、会からの退職金制度変更の提案や、個別査定制度の導入阻止などの報告がありました。神奈川からは賃金・退職金・定年退職者雇用制度について報告。長野からは、この間の諸規定の変更や、医師の定年延長、介護職の賃金制度の見直しなどについて報告されました。



賃金の生計費について寸劇風に説明

2日目は前日の講演と報告について討議を行

いました。

閉会のあいさつで岡部義秀中執は、「要求を作るうえで、しっかりと学習して突き詰めていくことが大切です。労働組合を強化していくことが賃金を守ることであり、賃金についての認識を持つためにも、各組織で

東海ブロック

働き続ける事の出来る「働き方改革」を

3月12日、静岡県熱海で東海ブロック春期学習会を開催しました。東海4県と本部合わせて61名が参加し、今春闘での取り組み報告や、課題の共有を行いました。

記念講演では、障害を負ってしまった患者さんの為に無料で障害年金の請求についての相談活動を長年行っている、社会保険労務士の杉山行彦氏に「働き方改革の概要」と題し講演をして頂きました。最近の国会では、裁量労働制のデータに誤りがあったことで裁量労働制の拡大の法案提出を見送るなど、「働き方改革」の中身が少しずつ変化しており、もう一度「働き方改革」を確認する事の出来る機会となりました。

各県報告で愛知からは、今春闘で定期昇給と特別昇給4分1号俸の賃上げの要求を行ったが、会から医療情勢の将来不安から特別昇給4分1号俸の賃上げを行わないと回答されたことについて、「計画達成への職

学習を進めて頂きたい。また、人事考課や査定は形だけでも入れられてはダメ。入ってしまうと内部から適用力を求める声が出てきてしまう。導入の話がでたら、とにかく入れないようにする事が必要」と呼びかけて閉会しました。

岐阜は、人事院勧告に基づき要求を行いました。黒字ではあるが、病院の建替、耐震工事などで経営状況は厳しいとの説明があったこと、5000円のベア要求は取れなかったが、その中でも、年度末賞与は0・65ヶ月を確保できたと報告しました。

三重では、医師不足を解消するため、昨年まで単独だったいなべ総合病院と、孤野厚生病院が「三重北医療センター」として450床超の病院となったことや、いなべ市でのふるさと納税を使い、民間病院の医師確保を行う取り組みが紹介されました。同制度を民間病院の医師確保に使うのは全国で初めての取り組みだそうです。

2日目は「自分の県に帰ってどのように春闘に取り組むか」をテーマに、グループディスカッションと発表を行いました。



東海ブロック団結がんばろー

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第129回は新潟と愛知にお願いしました。



新潟 戸田有祐さん

新潟からは副執行委員長の戸田有祐さんを紹介します。戸田さんは中条第二病院の精神科病棟で介護福祉士をしています。看護・介護の現場は人員不足、介護職の処遇改善と課題は山積みです。介護職の代表として現場の厳しい実態を訴え賃金・労働条件改善に向けて組合活動に奮闘しています。また、戸田さんが勤務する中条第二病院は先の見えない新築再々延伸と老健の譲渡が会から突然提案され、存続に向けて地域住民とともに運動をしています。責任感と職場からの信頼の厚い戸田さんです。プライベートでは一昨年結婚し幸せいっぱいです。地域医療を守り、そこで働く人の働きやすい職場を目指しこれからも仕事に組合活動に活躍を期待しています。

愛知県からは、愛厚労更生支部の副支部長・志賀有雅さんを紹介します。志賀さんは、安城更生病院の薬剤部に勤務しており、現在は病棟薬剤師として活躍しております。志賀さんといえば筋肉！白衣に隠れて見た目ではわかりにくいですが仕上がっています、実は！筋トレと同じように仕事もコツコツ真面目に取り組んでいる志賀さんなら、組合活動にもその力を発揮してくれることと思います。職場のため職員のため、これからも縁の下の力持ちとして活躍されることを期待しております。



愛知 志賀有雅さん

読者の声

1月の寒波来襲で雪かきを
し、3日後に筋肉痛になりま
した。もう若くないという体
からの声を聞き、今年はちよ
つと運動を意識して、体を大
事にしたいと思います。
(長野)

新年が始まり早くも立春と
なりました。委員長、書記長
あいさつカラー刷りでよかつ
ね。
(T.M)

新年号4面の「住民のつど
い」本当に必要な会だと思
いました。地域医療は、医療
現場と地域住民が意見を出し
合い、手を取り合って活動し
てこそ、より充実したものに
なると考えています。こうい
った記事、次回以降も是非拝
見したいです。
(福島)

私の支部でも毎年2月、
4月にかけて3か所の地
域で健康セミナーと併せ
て地域懇談会を開催して
います。地域住民の意見
はほんとに大切だと毎年
痛感しています。(S.N)

診療・介護報酬同時改定に
伴う指針が、現時点でスッキ
リしていないせいか、病院内
がざわついています。大波に
のまれないようにしたいです
ね。
(長野)

その通りですね！我々、
医療従事者は、政治や時
勢の流れにとらわれるこ
となく、本来の医療のあ
り方にこだわっていくべ
きだと思います。(S.Z)

ぜひご加入ください。

みんなでつくる 大きな安心
医労連共済
お気軽に労働組合の
共済担当者まで **0120-160931**

慶弔共済「卒業」「入学」「退職」給付は事由発生日の90日前から請求できます。
●その他の請求事由は、事由発生日以降の請求となります。
●請求期限(請求時効)は、事由発生日から3年以内です。

慶弔共済の口数によって、「卒業」「入学」のお祝い金の金額が決まりますので、金額欄に必ず記入してください。

口数での金額例	
1口→	2,500円
2口→	5,000円
3口→	7,500円
4口→	10,000円
5口→	12,500円



大募集「入職おめでとう！先輩からのメッセージ！」

意見・要望覧にご記入下さい。アドバイスや、励ましの言葉、仕事に対する姿勢や、社会人としての自覚等々、たくさんの投稿をお待ちしております。

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。

スマホからすべて投稿できます★

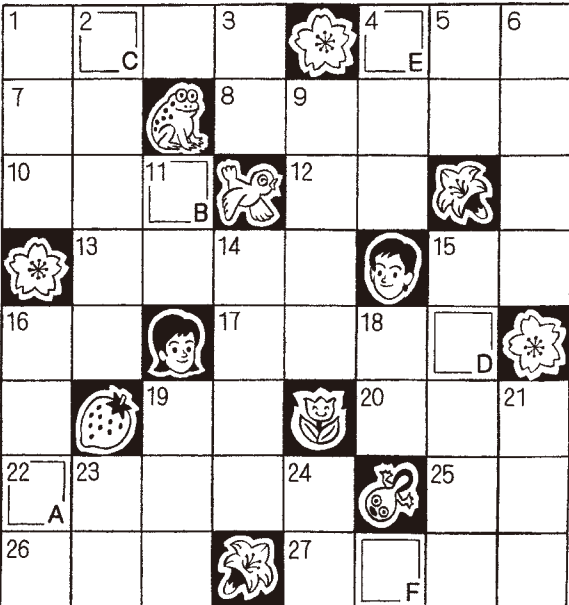


教宣部のつぶやき

3月11日に某所でフルマラソンに挑戦してきました。二度目のチャレンジでもあり、素人ランナーの私は完走が目標でした。当日は果てしなく続くアップダウン、強風の向かい風、雨、あられ、寒さとの戦いでもありました。そんな私が無事に完走できたのは、沿道の方々、スタッフの温かい応援、サポート、共に走った仲間たちの存在に支えられ、ゆっくりでも、立ち止まって、後退することなく前を向いて進み続けたからだ実感しました。よくマラソンは人生に例えられますが、正にその通りであり、奇しくもこの日は、7年前の東日本大震災の日でもありました。今もなお、苦難の道を前向きに歩み続ける被災者の方々には頭が下がります。これからの人生を前向きに、駆け抜けようと思う今日この頃です。(S.Z)

ザクロスワード

出題▶モロズミ勝



【問題】A～Fを並べてできる言葉は？

- タテのカギ
- 1 小形の絹のふろしき
- 2 伊達直人の贈り物
- 3 手まり。バラ
- 4 「正」の読み方は？
- 5 ウイリアムテルの武器
- 6 平成が変わります
- 7 …げんまん
- 8 野球のベース
- 9 けいこ。ピアノの…
- 10 メキシコの帽子
- 11 昔、武将が使ったハタ
- 12 キに似た指揮棒
- 13 ……温度の沸点は10
- 14 0度
- 15 お出かけ時はご用心
- 16 始動すること。…オフ
- 17 イブセンの「人形の…
- 18 兼好法師の徒然…